

公式通知 No.4-1/6

KV-BIKE 宛


競技手順について

■ ONE LAP タイムアタック【国際レーシングコース 東コース】

- ① 走行スタート順は、整列順とする。
順次コントロールタワー前のスタート位置からオフィシャルの合図(日章旗)により、国際レーシングコース 東コース1周 KV-40と比べて**逆走（以下、KV-BIKE ではこの走行方向を「順走」と定義する）**でのタイムアタックを開始する。
- ② 各チーム約 15 秒～20 秒間隔(状況により変動あり)でアタックを開始する。
ONE LAP タイムアタック最終スタート時刻 **11 時 05 分**に間に合うよう車両を準備し、スタート位置に整列する。
- ③ 東コースを周回した後ホームストレートに戻り、コントロールライン(タイム計測ライン)でオフィシャルによりチェッカーを受けた時点で完走となる。その後、PIT レーン入口を逆走しオフィシャルの誘導に従い、PIT50 にて車両を預けること。この際、自ピットに戻ってはならない。
加えて**何らかの作業を行う場合は必ずオフィシャルへ申し出なければならない。**
- ④ 競技中、充電側ブレーカの復帰作業を行うことができる。その際、電池の温度や固定の状態を確認しながら作業すること。また、安全であることを確認した上でブレーカのカバーを開けて操作すること。
なお、復帰できない場合は、降車してコース外を押し歩くことができるが、当該周に必ずピットインしなければならない。加えて、**車両を押し走った場合は失格となる。**
- ⑤ コース上で STOP したライダーは、車両をコース外へ移動させ、安全な場所に退避すること。ONE LAP タイムアタックにおいて、レッカーにより回収され、完走できなかったチームは、嘆願書提出を条件 30min トライアルに**順位賞典対象外**として参加することができる。
- ⑥ ONE LAP タイムアタックの競技時間は **30 分間**とする。最終スタート時刻 **11 時 05 分**から **10 分後の 11 時 15 分**に競技終了となり、各監視ポストにて赤旗が表示される。
この時点でチェッカーを受けていない車両は、レッカー回収の対象となるので直ちにその場で停車させること。ただし、下りで速度が付いている車両については、ブレーキをかけ各自で安全を確保し停車させること。
- ⑦ ONE LAP タイムアタック終了後は、全車両を対象として車両保管を実施するため、ONE LAP タイムアタック終了後、速やかに競技車両を PIT50 へ持ち込むこと。この際、自ピットに戻ってはならない。
加えて、**何らかの作業を行う場合は必ずオフィシャルへ申し出なければならない。**
- ⑧ ONE LAP タイムアタックで完走できなかったチームは、ONE LAP タイムアタック終了後 **30 分以内**に大会事務局(ピットビル 2 階)へ 30min トライアル出走確認書(嘆願書)を提出することにより 30min トライアルへの出走が認められる。その場合、車両保管は除外され、充電が認められるが、**順位賞典対象外**での参加となる。

公式通知 No.4-2/6

■ 30min トrial【国際レーシングコース 東コース】

- ① ONE LAP タイムアタック後に保管された車両の返却及びスタート前チェック
車両返却(PIT50)及びスタート前チェック(車検場付近)：**13時20分～13時40分**
⇒車検オフィシャルが車検場付近において車両・装備品などのチェックを行う。
 - ②ピットレーン開口部よりコースインし、ホームストレート上スターティンググリッド(最終コーナー側)で車両を停車させる。なお、スターティンググリッドは、ONE LAP タイムアタックの結果順となる。
また、次項のスタート進行開始時間までは、ピットに戻ることが許されるが、この際グリッド上での車両に対する修理作業は認められない。
 - ②スタート進行：**13時40分～13時50分**
ピットからスタートまでのカウントダウンが開始される。
 - ③スタート：**13時50分～**
オフィシャルの合図(日章旗)により、競技が開始される。
なお、**指定された区間(右図黄色網掛け部分)は、1周目の押歩きが認められる。**
指定された区間は、大会事務局によって
コース上に石灰によるライン引きによって、始点と終点が指定される。
- 
- ④コース上で、STOPした車両はその場でオフィシャルへ「リタイア宣言」を宣告し距離認定を受けること。
「リタイア宣言」を行った地点までの距離が走行距離として認められる。走行距離の計測は、基点から前輪の接地点までとなる。基点は、コース上に設置された各パイロン位置となる。**距離認定を受ける前に車両を動かしたと判断された場合は、ペナルティが科せられることがある。**
「リタイア宣言」をした車両も、賞典外として競技に参加することができる。
 - ⑤ピットインのタイミングやライダー交代は自由。ピットイン時の押歩きは認められる。また、ピット入口から出口までの距離は、走行距離としては認められない。ピット入口および出口は、赤いパイロン位置によって示される。
 - ⑥チェッカーが提示される5分前にピットロード出口は閉鎖される。
 - ⑦30分経過時点で、トップ車両の位置に関係なく、ホームストレート上フラッグ台にて**チェッカーフラッグが5分間提示され、コース上では赤旗が提示される。**コース上では、チェッカーフラッグ提示終了時刻まで放送にてカウントダウンを行う。チェッカーフラッグ提示終了時刻に、急な下り坂を走行している場合は、徐々にブレーキをかけて安全に停車すること。

公式通知 No.4-3/6

⑧チェッカー・赤旗が提示された時点でコース上にいるチームのうち、走行距離の長いものから順位を付す。

走行距離が同じチームは、コントロールラインを通過したタイムで順位が決定される。

また、チェッカー・赤旗提示中にコントロールラインを通過できなかったチームは、チェッカー提示から5分後の地点までが走行距離として認められる。この場合の走行距離は下表1に基づいて、コース上に配置されているオフィシャルにより確定され、コース上にて止まった位置の距離認定用紙がライダーへ渡されるので、ライダーは距離認定用紙に署名しそれを大会事務局に競技終了30分以内に提出することで、順位認定が行われる。表1の同一区間に複数車両が停車している場合はより前方で停車している車両から順に1、2、3…とそれぞれ連番で認定を行う。

場合により事務局で用意したトランスポンダーの位置情報から認定される。

表1

ストップした位置(区間)	走行距離
コントロールライン ~ 30	200m
30 ~ 10	400m
10 ~ 09	600m
09 ~ 08	800m
08 ~ 07	1,000m
07 ~ 06	1,200m
06 ~ 05	1,400m
05 ~ 03	1,600m
03 ~ 02	1,800m
02 ~ 01	2,000m
01 ~ コントロールライン	2,200m

※「ストップした位置」の数字はオブザベーションポストの番号（コース図参照）

※チェッカー・赤旗提示中にコントロールラインを通過できなかったチームの順位認定例

#50、51、52号車はいずれも5周回を完了後にチェッカーが提示され、#50が06～05区間で停車、#51が07～06区間で停車、#52が07～06区間の#51の後ろで停車した場合

順位	No	チーム名	周回数	区間距離/区間内順位	総走行距離	獲得ポイント
Pos.19	#50	五十高校	5 Laps +	1,400m	12,400m	2P
Pos.20	#51	30 中学チーム名	5 Laps +	1,200m/1	12,200m/1	1P
Pos.21	#52	31 中学校チーム名	5 Laps +	1,200m/2	12,200m/2	-

公式通知 No.4-4/6

- ⑨競技を終了した車両は、オフィシャルの誘導に従ってピットレーンを逆走し、**PIT50にて**車両検査を受けなければならない。
- ⑩競技中に STOPした車両は、競技終了後のレッカー回収対象となる。ライダーは車両を安全な位置に移動し、退避すること。

■ 競技の中断と再開について

競技継続が不可能と判断されると、競技中断となる。競技中断の合図は赤旗の提示とコース上の放送がされる。その場合、**各車両はただちにピットインすること。**

再スタートが判断された場合は、ピットインした時点での成績上位のチームよりコントロールタワー前に整列し、オフィシャルの合図(日章旗)で、競技が再開される。整列順でコースインを開始すること。

【補足事項】

1. 荒天が予期される時点で、競技を中断する場合がある。
2. 競技中断中も 30 分の競技時間は継続される。
3. 前述の「ピットインした時点での成績」とは、以下の考え方とする。
 - ① 走行距離が長い順
 - ② 自走でピットインした順
 - ③ 自走でピットインすることはできず、回収車両によりピットインした車両※③は回収ポイントの走行距離が長い順に整列する。
※安全確保のため、回収車両が到着したら必ず車両回収に応じること。
4. 競技が再開されない場合は、3.①②③の順位を最終順位とする。

公式通知 No.4-5/6 KV-BIKE ONE LAP タイムアタック 全体図

